

就労支援事業実施要領

(目的)

第1条 この要領は、なごや・よりどころサポート事業実施要綱第4条2項の規定に基づき、就労支援事業（以下「事業」という）について必要な事項を定めることを目的とする。

(事業内容)

第2条 この事業は、下記の内容を実施する。

(1) 中間的就労支援

参加法人が中間的就労の場を提供するとともに、非雇用型に通う本人のために交通費相当額を支給し、通いやすい環境をつくることで、一般就労につながるよう支援する。

(2) 一般就労支援

名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンターにおいて就労訓練や中間的就労などの就労支援を経て、一般就労をしようとする者で、生活困窮により就職に必要な準備が整わない者に経済的援助を行うことで、一般就労ができるよう支援する。

(3) 就労体験支援

就労体験をする者に交通費実費を支給し、通いやすい環境をつくることで、一般就労につながるよう支援する。

(中間的就労受け入れ施設)

第3条 中間的就労受け入れ施設は名古屋市就労訓練事業認定要綱の規定に基づき認定を受けるものとし、名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンターとの連携のもと、就労指導等を行う。

(中間的就労支援における交通費相当額の支払い)

第4条 第2条第1号の規定により交通費相当額として1日あたり1,000円を支給するものとする。

2 支給期間は、おおむね1年以内とする。

3 交通費相当額は中間的就労受け入れ施設から本人に立替払いをし、事務局に報告書（様式1）を提出する。後日、事務局は、報告書に基づき中間的就労受け入れ施設に返金するものとする。

(一般就労支援対象者)

第5条 第2条第2号に規定する一般就労支援の対象者は、名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンターが支援をしている者で、生活困窮により一般就労に必要な準備が整わない者

とする。

- 2 前項にある生活困窮の状態とは、原則として生計中心者の市町村民税が非課税の世帯にある者をいう。

(経済的援助の申請、決定及び実施報告)

第6条 経済的援助の申請をしようとする者は、申請書(様式2)を提出するものとする。

- 2 名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンターは、支援にあたってのアセスメントを参考に本人からの申請書(様式2)に意見を付し、事務局へ提出する。
- 3 事務局は申請書をもとに経済的援助の決定をする。
- 4 経済的援助の給付は、原則として現物とし、用途はおおむね以下のものとする。
 - (1) 就職支度準備費(スーツ・かばん・靴などの購入等)
 - (2) 就職活動時の交通費
 - (3) 就労に必要な資格取得金
- 5 一人あたりの上限を70,000円以内とする。ただし、資格取得金以外については原則として1点あたり30,000円未満のものとする。
- 6 原則として支払いは本人に代わり事業者に対して行うものとする。
- 7 経済的援助は原則として返還を求めないものとする。ただし、申請者が特に費用の返還を希望する場合にはその費用の返還を受け入れることとする。
- 8 虚偽の申請もしくは不正に使用された場合は、申請者に返還を求めるものとする。
- 9 名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンターは、経済的援助の現物給付終了後、実施報告書(様式4)を事務局へ提出する。

(就労体験支援対象者)

第7条 第2条第3号に規定する就労体験支援の対象者は、名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンターによる就労体験(就労準備支援事業)をする者で、受け入れ事業者からの支給の見込みがない者とする。

(就労体験支援における交通費実費の支給)

第8条 第2条第3号の規定により、交通費実費を支給する。ただし、1日あたりの上限を1,000円とする。

(就労体験支援における交通費実費支給の申請、決定及び実施報告書)

- 第9条 交通費実費支給の申請をしようとする者は、申請書(様式3)を提出するものとする。
- 2 名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンターは、支援にあたってのアセスメントを参考に本人からの申請書(様式3)に意見を付し、事務局へ提出する。

- 3 事務局は申請書をもとに交通費実費支給の決定をする。
- 4 名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンターは、交通費実費支給後、実施報告書（様式4）を事務局へ提出する。

（附則）

この要領は、平成27年10月1日から施行する。

この要領は、平成31年4月1日から施行する。

令和 年 月 日

中間的就労受け入れ報告書

社会福祉法人
名古屋市社会福祉協議会会長 様

法人名 _____

施設名 _____

施設長名 _____ 印

担当者名 _____

T E L _____

別添出勤簿のとおり、中間的就労を受け入れましたので報告します。

1. 就労者

氏 名	
支援センター名	
受け入れ日数	

2. 交通費相当額振込先

銀行名	銀行	支店名	支店
預金種類	普通 ・ 当座	口座番号	NO.
フリガナ			
名 義			

※出勤簿と就労者本人から徴した領収書（写）を添付してください。

一般就労のための現物給付申請書

申請日	令和 年 月 日		
よみがな		生年 月日	年 月 日
申請者氏名			(才)
住所	〒()		
連絡先電話			
申請理由			
用途	(1) 就職支度準備費 <input type="checkbox"/> スーツ <input type="checkbox"/> かばん <input type="checkbox"/> 靴 <input type="checkbox"/> 理美容 <input type="checkbox"/> その他()	金額内訳	(1) 円
	(2) 就職活動に必要な交通費 [算出根拠]	金額内訳	(2) 円
	(3) 資格取得金 []	金額内訳	(3) 円
合計金額(1) + (2) + (3)			円

上記申請について、給付適当と認め、下記のとおり意見を申し上げます。

相談機関名 センター長名	名古屋市 仕事・暮らし自立サポートセンター () センター長
一般就労の状況 (求職中・就職先等)	
現物給付を必要とする 理由(経済的状況)	

就労体験にかかる交通費支給申請書

申請日	令和 年 月 日		
よみがな		生年 月日	年 月 日 (才)
申請者氏名			
住所	〒(-)		
連絡先電話			
申請理由			
利用する 公共交通機関と 経路		申請額	円

上記申請について、給付適当と認め、下記のとおり意見を申し上げます。

相談機関名 センター長名	名古屋市 仕事・暮らし自立サポートセンター() センター長
交通費支給を 必要とする理由 (経済的状況、受け入 れ事業者の状況等)	

(様式4)

令和 年 月 日

一般就労支援（経済的援助）・就労体験支援（交通費実費支給）

実施報告書

社会福祉法人
名古屋市社会福祉協議会会長 様

センター名 _____

センター長名 _____

担当者名 _____

T E L _____

下記のとおり、

- 一般就労支援における経済的援助
 就労体験における交通費実費支給
- を行いましたので、報告します。

対象者氏名		
支援内容	<input type="checkbox"/> 一般就労支援	<input type="checkbox"/> 就職支度準備費 (支給物品等：) <input type="checkbox"/> 就職活動時の交通費 (経路：) <input type="checkbox"/> 就労に必要な資格取得金 (資格の名称：)
	<input type="checkbox"/> 就労体験支援	交通費実費 (経路：)
支給額	円	

※現物購入等の際の領収書（写）、交通費については対象者から徴した領収書（写）を添付してください。